

長野美術専門学校
令和 7 年度事業報告書

学校法人クリエイティブ A

I 法人の概要

1 建学の精神

人間に生きる歓喜（よろこび）と希望をもたせ続けてきたのは音楽と美術の力である

2 理念体系

(1) 教育理念

創造性の育みを以って豊かな社会形成に資する

(2) 信条

クリエイティブこそ社会形成の要である

(3) 教育目的

創造性の育み

(4) 育成人間像

目的に対し自由な精神で立ち向かう主体性を持った人間

(5) 使命

学生への最良の通過点の提供

3 沿革

1946. 04 村田美術研究所を長野市に開設

1953 村田絵画研究所を併設

1964 長野市北石堂町にアトリエを新設 ※ここまでが、個人立絵画教室

1970. 10 長野県知事より私立村田美術学校認可※公認の各種学校

学校長に村田武次就任

設置学科 造形科 絵画コース（2年制）/デザインコース（2年制）

1976. 04 専修学校文化教養専門課程認可※専修学校専門課程として認可を受ける

1978. 04 長野市岡田町に校舎新築移転 長野市岡田町8-1-9

1978. 09 長野美術専門学校に名称変更

1981. 09 造形科にレタリング・写植コース（1年制）を設置

1988. 03 造形科レタリング・写植コース（1年制）を廃止

1991. 12 創立20周年記念事業

1995. 10 学校法人村田学園認可※個人立から法人立へ、公の学校としての位置付けを強くする

初代法人理事長に村田武次就任

1997. 09 長野市中御所1丁目10-10に新校舎新築移転

1998. 04 学科構成等変更

造形科へ建築デザインコース（2年制）を設置

研究科（1年制）設置

1999. 03 別館「蔵」の増設
建築デザインコースは国家資格に係る学科であり、その設置条件を満たすための増設
2000. 04 学校長に村田道子就任
2001. 04 創立 30 周年記念事業
2002. 03 学科構成等変更
造形科建築デザインコース（2 年制）を廃止、
造形科デザインコース（2 年制）、絵画コース（2 年制）を統合し、造形科（2 年制）とする。
2004. 04 学校長に村田陽就任
2004. 04 学科構成等変更
研究科（1 年制）を 2 年制に変更
造形科をビジュアルデザインコース（2 年制）、ビジュアルデザイン特修コース（2 年制）に分ける。京都造形芸術大学通信教育部の併修制度を開始（特修コース）
※特修コースは主に進学を考える学生のためのコースとして設置された。
2005. 10 法人理事長に村田陽就任
2005. 10 学校長に小林勝彦就任
2007. 04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2 年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2 年制）2 年次に映像授業開設
2007. 04 学科構成等変更
アート・コミュニケーション科（1 年制）開設
2007. 07 法人理事長に小林勝彦就任
2009. 04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2 年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2 年制）に Web デザイン専攻・映像デザイン専攻を新設
アート・コミュニケーション科に 2 年制コースを設置したため、アート・コミュニケーション科 1 年制コース・2 年制コースとする
2010. 04 学科構成等変更
造形科 ビジュアルデザインコース（2 年制）とビジュアルデザイン特修コース（2 年制）を統合し、ビジュアルデザイン科（2 年制）とする
2013. 04 全学科単位制へ移行
美専修学ラインの設定
デザインライン／ドローイングライン／アートライン／映像ライン
2014. 03 ビジュアルデザイン科 2 年制 職業実践専門課程認定
実践的な職業教育を高い質で確保している学校として「職業実践専門課程」法制化初年度に認定される
2015. 04 学科構成等変更
ビジュアルデザイン科 3 年制を開設

- ビジュアルデザイン科はビジュアルデザイン科2年制に名称変更
2016. 04 法人名称変更
「学校法人村田学園」を「学校法人 クリエイティブ A」に変更
C I（キャンパスアイデンティティ）の確立へ
学科名称変更
アート・コミュニケーション科1年制をビジュアルアート科1年制に変更
アート・コミュニケーション科2年制をビジュアルアート科2年制に変更
2016. 04 学科構成等変更
美専修学ラインの充実を図る
アニメキャラクターライン（新設）／デザインライン／イラストレーションライン（ライン名変更）／ファインアートライン（ライン名変更）／映像ライン
2016. 12 新キャンパス建設着工
2017. 08 新キャンパス竣工
2019. 04 研究科をプロジェクトデザイン工科へ名称変更
2019. 07 サテライトキャンパス設置 長野県長野市中御所 森ビル新館 1F
2020. 03 ビジュアルデザイン科3年制 職業実践専門課程認定
2020. 03 ビジュアルアート科1年制廃止
2020. 04 美専修学ラインに「WEB メディアライン」を新設
2021. 03 プロジェクトデザイン工科廃止
2021. 04 com. デザイン総合学科設置
2021. 04 履修証明プログラム「実践的デザイン基礎コース」設置
2022. 04 履修証明プログラム「実践的デザイン応用コース」設置
2023. 02 履修証明プログラム「実践的デザイン基礎コース」キャリア形成促進プログラム認定
2023. 02 履修証明プログラム「実践的デザイン基礎コース」教育訓練給付講座 指定
2023. 04 ビジュアルアート科3年制学科 設置
2023. 05 地域連携研究センター「ながの Creative HUB」発足
2023. 05 長野市との包括連携協定を締結
2025. 10 長野美術専門学校の「目的」変更（通信制学科設置）認可
2026. 04 オーバル・アーツ学科（通信制）設置予定

4 設置する学校

学校名	長野美術専門学校				
設置者	学校法人クリエイティブA				
郵便番号	380-0935	所在地	長野県長野市中御所1丁目10番10号		
電話番号	026-227-3229	FAX番号	026-227-3235		

5 設置する課程・学科・修業年限

課程	学 科 (単位制)	修業 年限	卒業に必要な単 位数及び時間数		称号
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	4 年	1 2 4	3400	高度 専門士
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科3年制	3 年	9 3	2550	専門士
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	2 年	6 2	1700	専門士
文化教養専門課程	ビジュアルアート科3年制	3 年	9 3	2550	専門士
文化教養専門課程	ビジュアルアート科2年制	2 年	6 2	1700	専門士

6 学科等の入学定員、収容定員、入学者数、在籍者数

(単位：人)

課程	学科（単位制）	定員	入学状況			4 月 開始時
			入学 定員	入学 志願 者数	入学 者数	
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	20	5	4	4	12
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科3年制	30	10	4	4	14
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	40	20	16	16	27
文化教養専門課程	ビジュアルアート科3年制	30	10	7	7	15
文化教養専門課程	ビジュアルアート科2年制	40	20	19	19	39
合 計		160	65	50	50	107

7 役員・評議員・教職員の概要

〈役員の概要〉

令和7年4月1日付私立学校法の改正において、役員数及び監事の役割等改訂による寄附行為の変更が行われた。よって、役員の退任・就任が行われた。就任した役員の任期は前役員の残任期間としている。

定数	選任条項	職名	氏名	任期
理事 定数6人	7-1-1	理事長	小林 勝彦	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	7-1-2	理 事	松田 光平	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	7-1-2	理 事	伊東 工	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	7-1-2	理 事	増澤 珠美	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	7-1-2	理 事	岡田智津子	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	7-1-2	理 事	松本 直樹	令和7年4月26日～令和9年3月31日
監事 定数2人	22-1	監 事	戸谷 英俊	令和7年4月27日～令和9年3月31日
	22-1	監 事	西澤 和博	令和5年4月1日～令和9年3月31日
評議員 定数7人	31-1-3	評議員	石黒ちとせ	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-3	評議員	西村 啓大	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-3	評議員	梅田 明雄	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-3	評議員	角居 康宏	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-2	評議員	中澤まど香	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-2	評議員	宮澤 理恵	令和5年4月1日～令和9年3月31日
	31-1-1	評議員	寺島 克己	令和5年4月1日～令和9年3月31日
顧問	68-2	顧 問	森 章	

〈教職員の概要〉

職 名	本務・兼務の別	勤務体制	合計（人）
校 長	本 務	常 勤	1
副校長	本 務	常 勤	1
教 員	本 務	常 勤	7
教 員	兼 務	非常勤	26
連携企業派遣講師	兼 務	非常勤	4
職 員	本 務	常 勤	3
職 員		非常勤	1

〈役員会の開催状況〉

1) 理事会

令和7年度理事会の開催状況は以下のとおりです

令和7年5月24日 定例理事会

令和8年3月28日 定例理事会

2) 評議員会

令和7年度評議員会の開催状況は以下のとおりです。

令和7年4月26日 臨時評議員会

令和7年5月24日 定例評議員会

令和8年3月28日 定例評議員会

II 事業の概要

1 当該年度の事業の概要

本校は、社会にあるべき「質と実」を心がけ、事業を遂行しています。いたずらに表面を飾ることなく、また経済性に偏ることなく、人間社会の幸福のために、いかに創造的な人間性を涵養するかという課題を掲げています。本校を取り巻く環境や本校自身の事業実力を考えた時、中長期に渡っては、事業基盤を固める時期であると認識しており、当年度も新しい教育課程の試行や、教職員の業務力育成など投資的展開の最中と心得て事業展開をした年度でした。

教育課程の新しい施策としては、次年度に開設を予定している通信制オーバル・アーツ学科の設置準備を進めました。新入職員の増員や、オンライン教材の開発をはじめとした、遠隔修学のためのインフラの開発や整備に取り組みました。申請手続きに繁忙を極めながらも、10月に認可が下り、2名の入学者を迎えることになりました。

環境整備の施策では、キャンパス内通信施設の大幅拡充を目指しましたが、当初目論んでいた国の補助が受けられず、計画を半減した自力の拡充になったことは、目指していた環境整備レベルまでには不足を覚えるところです。

学生募集では、4月の年度当初から6月までのWEBサイトへのアクセスが近年に比べ激減、またオープンキャンパス参加者の積み増しが伸びず、本校への進学意識の低下が懸念されましたが、入学者は34名と前年を大幅に下回る結果になりました。年度後半からは次年度以降の回復に向け対策を検討し、実施してきました。

リカレント教育策で、社会人に向けて開設している「履修証明プログラム」については、履修者が少なく、学生募集の問題を認識しています。

また、産官学が連携しての活動を、本校は「社会学連携活動」と言っていますが、「地域連携研究センター（ながのクリエイティブ HUB）」では、主に校外からの相談を“社会と共にクリエイティブを学ぶ”姿勢で受け付け、その機能を向上させました。学業への適正な組み入れ、学生の有意な学びが成立するよう図っています。

これらのような、本科の多様化方策のみならず、課外で“クリエイティブプロジェクト”として

行なっているサテライトの「美専ギャラリー」や「街のギャラリー」など、学校活動全体の多様化を、継続振興、付帯事業の小学生を対象とした「ながのこども美術学校」もその一つで、こどもの成長に美術が不可欠な活動とした“美育”理念に基づき、当年度も内容に工夫を凝らすなど発展的に行ないました。受講生はこれまでに比べ減少しています。

以上、事業報告に先立って、中長期に渡る基盤形成最中の活動概要を示しました。事業収支は拮抗で、留保資金の増額はできませんでしたが、本校は理念の成果を目指す施策試行の渦中であり、想定されたものです。

また、理念具現の施策の新規性が、文部科学省のシンクタンクの研究機関の調査対象として取り上げられたことも申し添えておきたいと思います。

2 主な事業の目的・計画・計画の進捗状況

〈教育課程〉

1) 各学科の修業年限、卒業に必要な単位数及び時間数

※ I—5 設置する課程・学科・修業年限 参照

2) 学科方針

課程	学科	学科方針
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	クリエイティブの本来性を探求し、多様な領域で活躍できる能力の獲得 これからの社会を幅広いデザインワークでリードする力をつける
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 3 年制学科	視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得 デザイン全般に関わる基礎力を確実なものにし、自身で切り拓く力をつける
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科 2 年制学科	視覚情報のデザインによって、物事を新たに考案する能力の獲得 デザイン全般に関わる基礎力を養い、社会の要請に正しく応える力をつける
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 3 年制学科	幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得 展示企画の実行や市場への流通をとおり、作品を社会に接続する力をつける
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 2 年制学科	幅広いアート表現によって、作品を造形する能力の獲得 制作や作品をとおり表現の可能性を広げ、社会へつなげる

〈教育課程の特色〉

本年度も、学生の多様なキャリア形成の支援を目的に、5つの学科と7つのテクニカルラインから成るカリキュラム「美専修学ライン」を運用しました。

教育成果の評価指標として、各年次の集大成を制作で体现する授業「総合制作」および「総合研究」、さらにその制作物を発表する場である総合制作展「美専展」を観点に掲げての運用でありましたが、最終的に、制作物の提出率の高さだけでなく、制作の質の高まりも確認された上、制作展への来場数の更新、主体的な企画運営などに格段の向上が見受けられました。

また年度当初、企図していたオーバル・アーツ学科の開設に伴うオンライン教材の開発と体系化については、学習管理システム（LMS）の一元的管理化と併せ、実装可能な段階へ順調に移行しています。

次年度は、通信制・昼間部を合わせた学生を擁することから、教育成果向上に向けた修学支援の拡充に合わせ、LMS運用やD Xの確度を上げ、教育基盤の再整備を進めていくことを方策としていきます。

〈連携学習〉

当年度の協定を交して行った企業等との連携学習は下表のとおりです。

（協定を交わしていないものも含む）

科目名	学習内容・テーマ	連携先企業・団体 ※敬称略	形態	実施期間
キャリア デザイン A・B	出前講座・社会人に必要な基礎知識	中尾大介 長野県選挙管理委員会 長野市保健所健康課 長野新卒応援ハローワーク 長野キャリア形成リスクリソグ支援センター 長野税務署 長野南社会保険事務所 北信労政事務所	講義	2025 年 5 月～10 月
就職実践	コンピテンシー・現場・実務の学び	松井秀夫 長野県 フォレストライフ協同組合 株式会社カナエ	講義 学生アイデアソン 企業内研修	2025 年 7 月 ～2026 年 2 月
インター ンシップ A・B・C 長期インター ンシップ	現場・実務の学び	ダルクセキ株式会社 TOMOYAARTS NPO 法人長野県 NPO センター 株式会社渋谷文泉閣 株式会社花屋ホテル あしたラボラトリー ホテル国際 21	企業内研修	2025 年 7 月～8 月 ※各社毎日 数設定

		株式会社 EME 有限会社アドフォート・トリム 大福食品工業株式会社 飯綱高原 ネイチャーセンター 日経印刷株式会社 株式会社 BlackPepper ほっとパル株式会社 第一企画株式会社 株式会社エイブルデザイン 株式会社地元カンパニー 株式会社アドISINGロ		
ムービーメイキング A・B	科目担当授業	有限会社アドフォート・トリム	講師派遣	2025 年 4 月～6 月
6 次デザイン	科目担当授業 信州お土産紹介 MAP 制作	長野県デザイン振興協会	講師派遣	2025 年 4 月～10 月
		株式会社トドロキデザイン	実習	
ブランドマネジメント	科目担当授業	株式会社りんごの木	講師派遣	2025 年 10 月～11 月
映像表現	科目担当授業	株式会社ズズザウルス	講師派遣	2025 年 5 月
ライン別ゼミ	人権啓発ポスターデザイン	長野県県民文化部人権・男女共同参画課	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	人権学習（制作テーマ）	長野県県民文化部人権・男女共同参画課	講師派遣	2025 年 7 月
ライン別ゼミ	長野市都市ブランドデザイン展開	長野市企画政策部広報広聴課 都市ブランド推進室	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	信濃町富士里板橋地区コミュニティバス停ウォールデザイン	信濃町板橋地区	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	ノベルティグッズデザイン	長野県信用保証協会	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	長野県消防設備協会シンボルデザイン	長野県消防設備協議会	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	ながのこどもわくわくカフェ・黒板アート	NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト	実習	2025 年 6 月～7 月

ライン別ゼミ	善光寺表参道イルミネーション 2025 デザインプロジェクト	長野市観光文化部観光振興課 インバウンド・国際室、株式会社アクテック	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	長野市芸術館協賛ポスタービジュアル制作	一般財団法人長野市文化芸術振興財団	実習	2025 年 7 月～10 月
ライン別ゼミ	「Y ふるさとレンジャー隊」デザインワークショップ&リーフレット等制作	長野県山形村	実習	2025 年 7 月～10 月
6 次デザイン、コピーライティング	山ノ内町夏の PR プロジェクト	一般財団法人山ノ内まちづくり観光局、カシヨ株式会社	実習	2025 年 5 月 ～9 月
レイアウトデザインA	卓球競技ユニフォームデザイン	「信州やまなみ国スポ 2028」 長野県卓球連盟	実習	2025 年 7 月
就職実践	「しあわせバイ信州運動」学生アイデアソン	長野県産業労働部産業政策課、株式会社ながのアド・ビューロ、フォレストライフ協同組合	実習	2025 年 8 月 ～2026 年 2 月
自由実践	臓器提供意思表示 CM プロジェクト	長野県臓器移植推進協議会	実習	2025 年 5 月～10 月
自由実践	表彰記念品デザインコンペ 2025	株式会社メイクワン	実習	2025 年 9 月 ～11 月
自由実践	観音寺「四万八千日縁日」の地口灯籠挿入絵制作	長野市中御所地区	実習	2025 年 7 月
自由実践	FICTS-NAGANO 国際スポーツ映画祭 2025」字幕入力	FICTS Nagano 国際スポーツ映画祭実行委員会	実習	2025 年 7 月 ～9 月
自由実践	「障がい者アート・グッズデザイン」	株式会社サース／アート de ラボ	実習	2025 年 7 月 ～2026 年 3 月
自由実践	「チュウ太」クリアファイル制作	長野中央自動車学校	実習	2025 年 5 月 ～7 月
自由実践	北斎館ミュージアムグッズワークショップ	小布施町「北斎館」	実習	2026 年 2 月
自由実践	「長野えびす講煙火大会」花火撮影講座	長野商工会議所、金武写真事務所	実習	2025 年 11 月

自由実践	栄村「にじのたね」子どもたちとのアートワークショップ	にじのたね	実習	2025 年 9 月
自由実践	第3回、第4回「子どもみらい横丁」	長栄、長野放送、ながの移動販売つなぎ局	実習	2025 年 3 月、7 月

その他の連携

審査員派遣	「信州ハンドクラフトフェスタ 2025」	株式会社共立プランニング	審査員派遣	2025 年 7 月
展示	まちのギャラリー	ホテルナガノアベニュー、森ビル新館	展示	2025 年
パブコメ	戸隠観光トイレ改修事業パブリックコメント	長野市観光文化振興課	パブリックコメント	2025 年 11 月～12 月
作品展示	文化芸能祭出品	長野市中御所公民館	作品展示	2025 年 11 月
作品展示	長野市役所階遊美術館出品	長野市文化スポーツ振興部文化芸術課	展示	2025 年～2026 年
講師制作	長野灯明まつり大籠制作	長野灯明まつり実行委員会	講師による制作	2026 年 1 月～2 月
プロジェクト参画	「みらいハッ！ケンプロジェクト」参画パートナー	長野市	プロジェクト参画	2025 年
開催会場提供	「山の日ポスター展 2025」	JAGDA 公益財団法人日本グラフィックデザイン協会長野地区	会場提供	2025 年 9 月
出展・協賛	ゲーム・イラストイベント「ZUKUZUKU」	出展・協賛（株式会社デジタルワークスエンタテインメント）	出展・協賛	2025 年 8 月

学生の自主活動

美研出店	第 18 回「善光寺表参道夏祭り」	善光寺表参道夏祭り実行委員会	自主活動（似顔絵屋さん）	2025 年 7 月
美研出店	「信州ハンドクラフトフェスタ 2025」	株式会社共立プランニング	自主活動（似顔絵屋さん）	2025 年 7 月
美研出店	「第28回ながの大道芸フェスティバル」	ながの大道芸フェスティバル実行委員会	自主活動（似顔絵屋さん）	2025 年 10 月
美研出店	第3回、第4回「子どもみらい横丁」	長栄、長野放送、ながの移動販売つなぎ局	自主活動（似顔絵屋さん）	2025 年 3 月・7 月

〈各種検定〉

当年度設定した検定の実施結果は下表のとおりです。

検定種	com. デザイン総合			ビジュアルデザイン科3年制			ビジュアルデザイン科2年制			ビジュアルアート科3年制			ビジュアルアート科2年制		
	学科														
	受験	合格認定	合格率	受験	合格認定	合格率	受験	合格認定	合格率	受験	合格認定	合格率	受験	合格認定	合格率
レタリング検定3級	4	3	75%	3	0	0%	10	4	40%	1	1	100%	2	1	50%
レタリング検定2級				1	0	0%									
色彩士検定3級	4	4	100%	3	3	100%	12	10	83%	6	5	83%	19	16	84%
色彩士検定2級							1	1	100%						
Illustrator クリエイター能力認定試験	5	4	80%	4	4	100%	6	5	83%	4	3	75%	3	0	0%
Photoshop クリエイター能力認定試験	5	4	80%	4	3	75%	6	1	17%	4	4	100%	3	0	0%
日本語検定3級	4	4	100%	3	3	100%	11	10	91%	7	7	100%	19	17	90%
美術検定4級	5	5	100%				1	0	0%	6	5	83%	9	7	78%
ビジネス能力検定ジョブパス3級	8	4	50%	4	3	75%	32	20	63%	8	6	75%	19	12	63%
ビジネス能力検定ジョブパス2級	1	1	100%												
フォトマスター検定3級				6	3	50%	1	1	100%	1	1	100%			
ブランドマネージャー資格検定3級	3	3	100%												
ゲームイラスト検定2段	1	1	100%												
ゲームイラスト検定1級	1	1	100%							1	1	100%			

3 入学志願者数・受験者数・合格者数等の入学試験に関する状況

月	日	曜日	試験種別
7	26	土	ＡＯ選考 学習体験 1
8	23	土	ＡＯ選考 学習体験 1
10	18	土	指定校推薦
10	25	土	第 1 回自己推薦選考
11	29	土	第 2 回自己推薦選考
12	20	土	第 3 回自己推薦選考 ※出願者無し
1	17	土	第 1 回一般選考
2	14	土	第 2 回一般選考
3	7	土	第 3 回一般選考
2025. 11/1～2026. 4/1			オーバル・アーツ学科ＡＯプログラム（個別設定）

選考結果

(単位：人)

学科	志願者数	受験者数	合格者数	令和 8 年度 入学者数
com. デザイン総合学科	2	2	2	1
ビジュアルデザイン科 3 年制	8	8	8	8
ビジュアルデザイン科 2 年制	12	11	11	11
ビジュアルアート科 3 年制	4	4	4	4
ビジュアルアート科 2 年制	9	9	9	8
オーバル・アーツ学科	2	2	2	2
合 計	37	36	36	34

4 卒業者数・修了者数・称号授与数等の状況

(単位：人)

課 程	学科名	4 月 開始時	年度内休 学	退学	卒業	転学科 等	3 月末 在籍者)
文化教養専門課程	com. デザイン総合学科	12	0	0	0	+1	13
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン 科 3 年制	14	1	0	5	0	8
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイ科 2 年制	27	0	4	8	-1	13
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 3 年制	15	0	0	3	-1	15
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 2 年制	39	1	2	19	+1	17
合計		107	2	6	35		66

特別な課程		受講者数（人）	修了者数（人）
履修証明プログラム	実践的デザイン基礎コース	2	2
	実践的デザイン応用コース	0	0

5 学生の就職・進学状況

卒業生 35 名のうち、就職を希望した者は 26 名で、その内就職した者は 25 名でした。希望者に対する就職率は 96.2%となりました。

科	卒業者数 (人)	就 職 希 望 者数 (人)	内 就 職 者 数 (率)	進 学 希 望 者数 (人)	内 進 学 数 (人)
com. デザイン総合学科	0	0		0	0
ビジュアルデザイン科 3 年制	5	5	5 (100%)	0	0
ビジュアルデザイン科 2 年制	8	8	7 (87.5%)	0	0
ビジュアルアート科 3 年制	3	2	2 (100%)	1	0
ビジュアルアート科 2 年制	19	11	11 (100%)	0	0
合 計	35	26	25 (96.2%)	1	0

6 基幹委員会運営

〈自己点検・評価委員会〉

教職員・講師及び卒業生へのアンケートを実施し、その分析を踏まえ令和 6 年度においての自己点検評価を行いました。

役職名	氏名	所属・役職	開催日
委員長	小 林 勝 彦	校 長	令和 7 年 8 月 7 日 (木)
委 員	松 本 直 樹	副校長	
委 員	小 林 理 砂	総務長	

〈教育課程編成委員会〉

専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等との連携による専門分野の動向や必要となる知識・技術・技能について、本委員会にて把握・分析し、授業科目の設置や授業方法の改善策を策定することで、本校の専門課程における実践的な職業教育の教育課程の編成に反映させることを目的としています。

開催日 第 1 回 令和 7 年 12 月 4 日 (木)

第 2 回 令和 8 年 3 月 5 日 (木)

役職名	氏名	選任区分	所 属
		委員会規則 第4条	
委員長	小 林 勝 彦	4 号	長野美術専門学校 学校長
委 員	辻 圭 介	1 号	長野県デザイン振興協会 事務局長
委 員	安 達 浩 平	3 号	株式会社ロジェインターナショナル
委 員	宮 本 圭	3 号	株式会社 シーンデザイン建築設計事務所
委 員	丸 山 照 史	3 号	株式会社エイブルデザイン
委 員	樋 口 大 輔	3 号	株式会社協栄テクノス
委 員	本 藤 佳代子	5 号	長野美術専門学校 com. デザイン総合学科学科長
委 員	相 澤 徳 行	5 号	長野美術専門学校 ビジュアルデザイン科 2 年制学科学科長
委 員	寺 島 克 己	5 号	長野美術専門学校 ライン主任代表

〈学校関係者評価委員会〉

本校と連携授業等に関係している企業や学識経験者、本校学生保護者、卒業生から選ばれた委員による学校関係者評価委員会を設置し、本校の自己点検・評価の結果が適切かどうか、またその結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか等の評価を行い、今後の学校運営改善のための参考としています。

開催日 令和7年9月4日（木）

役職名	氏名	選任区分	所 属
		委員会規則 第4条	
委員長	松 井 秀 夫	1 号	N P O 法人夢のデザイン塾 副理事長
委 員	松 本 政 憲	2 号	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
委 員	奥 山 哲	2 号	カシヨ株式会社 代表取締役
委 員	内 山 好 子	4 号	在校生保護者
委 員	六 川 智 博	5 号	卒業生

7 教職員研修

本校教職員研修規則に定める教員研修は、専攻分野の専門性の学びについて、学生の就職先などの進路への通用性や分野動向への対応性及び職業人として求められる人間力を教員自身が調べ、学び、企業等の人材需要に応じていくために企業等との連携により実践性を踏まえて行ないます。

また、職業人育成のための教育的知識・指導力を高める目的により、本校の教育活動に適した教育理論や技術の研修を行ないます。研修の取り組みにあたっては、教科運営を行なう立場から教務部署がこれらの目的を賄う成果をあげるため、教科会、主任会、職員会等に働きかけ学校全体としての活動となるよう先導するものとしています。

又、職員へも学校運営上必要になるとと思われる各種研修会へ参加の形で実施しています。

目的	研修内容・テーマ	研修先又は講師派遣先	形態	研修日
指導力向上	「専門学校に関する講演会」 学生指導を行う上で、教職員が円滑に指導を行える環境づくりと、時代の変化に対応した教育の在り方を考えることは重要です。本講演会では、「専門学校におけるリカレント教育・リスキリング教育の推進に向けて」をテーマに、専門学校教育が果たす役割と今後の方向性について理解を深めることを目的とします。	福岡大学 人文学部 教授 植上一希 氏	現地実習 ホテル モンター ニュ松本 (ZOOM参加・オンデマンド参加も可とする)	令和7年 11月20日 (木)
技術力向上	「AIで持続可能な未来の社会を創る」 本研修は、近年急速に進歩しているAIの最新技術やその仕組み、社会における活用動向について学ぶことが目的。 研修を通じ、AIが今後の社会や教育現場に与える影響について理解を深めるとともに、授業内におけるAIの導入やその活用の可能性について、具体的な示唆を得た。	正木一規 氏 JAPAN AI株式会社 アライアンスグループ	研修会参加 富士フィルムイノベーション ジャパン株式会社 社長野支社長野オフィス	令和7年 11月14日 (金)

8 企画

新たな学校活動の構想、またそれらを適切に社会に位置付けるべきブランディングは、これまで校長を中心にその都度、対処的に組織し賄ってきましたが、令和7年度からは専念的に取り組む企画部署を設置して行いました。

〈当年度推進した主な企画〉

1) オウンドメディア企画・運営

「オウンドメディア」を広報ツールの体系に位置付け、本校が他から正しく識別されるための - 学校案内オンライン版 - 視点を発見するパーソナリーノート 「Another View」 - SNS (Instagram, YouTube, Facebook, X, note)

2) 「新しい学びの美専モデル」構想

遠隔の学びを取り入れた学習環境（オーバル・アーツ学科を牽引役として推進中）

3) 「ビケット」立ち上げ

美専版コミックマーケット（コミケ）の第1回開催（参加者106名）

4) 「ビカム」立ち上げ

同窓生のキャリアを現役生にフィードバックし、同窓会振興を推進する同窓生との交流会の第1回開催

5) 社会学連携活動企画・運営

社会学連携活動を連携学習として課程に適切に位置づける「地域連携研究センター（ながのクリエイティブHUB）」の中核業務

6) クリエイティブプロジェクト企画

学校独自のプロジェクト - 美専展 2026 - 美専ギャラリーーまちのギャラリー - クリエイティブ・フラッグ

これら代表的な企画は、他の教育機関と比べると先進的なものですが、単なる思いつきではなく、本校の教育課題への方策としての、かねてからの構想によるものを具現化しています。

美専展は学生の総合制作を公開する授業目的のプロジェクトですが、社会に向けた創造性教育の必要性を伝える目的により、当該年度の教育課程において企業等との連携活動による成果物の公開を学校側により行います。学生と学校との協働展となっています。

美専展 2026 開催日時	令和8年2月27日（金）～ 3月1日（日） 10:00～17:00 ※初日開始14:00。最終日16:30まで 内覧会：2月27日（金）11:45～13:00
開催場所	北野カルチュラルセンター
構成	学校：連携学習の成果報告 学生 101名：総合制作作品の展示
会期中の来館者のべ人数	762名（27日/142名、28日/310名、1日/310名）

9 付帯事業

本校に設置する付帯事業については以下のとおりです。

ながのこども美術学校

小学生の自我の確立へ向かう発達期に合わせ、バランスのとれた人間性の育成のために、美術による教育「美育」の活動を下表により行いました。又、この講座は、本校の教科科目「美術学習論実習」を選択した学生へ指導法を学ぶ授業としても設定されています。

クラス	開講時間	開講数 ／月	入校金 入校時 (1 家庭)	受講料／ 月	担当講師 (敬称略)	受講者数 (年間のべ) 単位：人
小学校低学年 (1～3年生)	14:00～ 16:00	2 回	5,000 円	5,000 円	小林 勝彦 鴨林 朱実 松本小百合 矢作 恵 青木 忠史	1 2
小学校高学年 (4～6年生)	14:00～ 16:00	2 回	5,000 円	5,000 円		1 4

10 地域貢献

〈学べるキャリア出張講座〉

長野県専修学校各種学校連合会が、専修学校・各種学校の職業教育についての経験やノウハウ、人材を生かし、小学 生・中学生・高校生・一般社会人を対象に、キャリア教育・生涯学習の一端を担い、その向上に資することを目的として設置しています。本校は当年度下表のように、協力しました。

月日	講座テーマ	担当講師	出張先
令和7年7月3日(木)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤德行	長野市立更北中学校 39 人
令和7年7月17日(木)	プロが教える！デッサン講 座	中山徳幸	長野市立柳町中学校 26 人
令和7年7月17日(木)	美術の基本からのデザイン 体験 基礎編&応用編	松本直樹	長野市立柳町中学校 19 人
令和7年7月18日(金)	美術の基本からのデザイン 体験 基礎編&応用編	松本直樹	長野市立柳町中学校 23 人
令和7年7月22日(火)	プロが教える！自分だけの ロゴ&マークデザイン	相澤德行	長野市立広徳中学校 20 人

〈いきいき生涯学習〉

長野市専修学校各種学校協会が主催する「いきいき生涯学習」に、当年度は下表のように協力しました。

月日	講座テーマ	参加者数	担当講師
令和7年8月30日(土)	デッサン	5 名	中山徳幸
令和7年8月30日(土)	デザイン※参加者0のため開催 なし	0 名	相澤德行
令和8年1月31日(土)	デッサン	9 名	中山徳幸
令和8年1月31日(土)	デザイン※参加者0のため開催 なし	0 名	相澤德行

1.1 学生募集

入学促進を含む広報活動全般と、企画事業推進について、組織再編に伴い役割分担を行い実施しました。

〈入学室担当業務〉

- 1) 調査活動：新入生分析、入学対象者分析、募集状況分析、高等学校進路状況分析のための調査
- 2) 渉外活動：高等学校等教育機関・企業等連携機関への訪問活動などを通じた関係強化を図ります

(高等学校等年間訪問実績)

月 日	訪問目的（進路指導室、事務室）
4月下旬～5月上旬	新年度挨拶、A0入試の告知、指定校推薦入試の依頼
7月上旬～7月中旬	A0入試の告知（再度）・エントリー状況の報告、進路状況の把握
9月下旬	A0入試合格者の御礼、進路状況の把握
11月上旬～12月中旬	指定校推薦・自己推薦入試合格者のお礼、進路状況の把握
1月下旬～2月中旬	新年ご挨拶、一般入試合格者のお礼、美専展の告知
3月下旬～次年度	A0～一般入試合格者のお礼

3) 資料送付「学校案内一式、オープンキャンパス DM（開催毎）」

対 象	時 期
高等学校・予備校	訪問活動に先立ち、都度送付（訪問活動でフォローアップ）
資料請求者	請求のあった時点で、都度送付
企業・団体	当年度学校案内が完成次第、送付。学校案内のみ

「美専展 DM」は、上記対象に加え同窓会（卒業生）等に拡大して送付

4) 進学支援業者による進学説明会への参加

高等学校内やイベント会場で開催される進学説明会は、高校生に直接アプローチできる限られた機会であることから、機会を逃すことなく本校のクリエイティブの学びを紹介しながら、来校促進を図ります。

5) 制作活動：募集要項の制作

6) オープンキャンパス「自由見学会」の企画・運営：

新たなオープンキャンパス開催の在り方としての「自由見学会」を、展示内容や会場のしつらえ等をさらにブラッシュアップし、来場者へ安心感・満足感を提供します。

7) ホームページ運営：本校情報発信の基盤として、適切な情報更新および内容充実を図りました。

12 今後の課題

中長期の課題は、事業基盤を固めるところにあるものですが、それは、将来実現すべき本校らしい学校のあり方を探し出すことでもあります。将来に築くべき最も重要な有意性は、多様な学びと育ちをサポートするこれまでの学校の形にとらわれない環境であると考えています。それは、2017年に本校理念を具現したクリエイティブキャンパスの延長線上にあるものでしょう。次年度は入学生が減少したものの、在籍学生数が100人を超え、相応の収入が見込まれており、中長期課題への前進を続けます。中長期の考え方に沿った予算執行をしていきます。

III 財務の概要

1 財務概要の経年比較

年度	正味財産額（円）
令和3年度	94,205,949
令和4年度	80,959,394
令和5年度	83,856,174
令和6年度	81,979,253
令和7年度	82,147,024

2 当該年度の決算の概要と財務の見通し

令和7年度決算においては、教育活動収入および教育活動支出ともに予算額には達しなかったものの、営業利益については概ね計画通りに推移し、経常収支差額は若干ながら黒字を確保することができました。これにより、2年連続となる赤字を回避し、一定の成果を上げることができたと考えています。

一方で、利益面では支払利息の負担が影響し、また支出面では人件費や各種支払単価の上昇に加え、広告費が当初予算を上回る結果となりました。社会全体の物価上昇や人件費増加の流れは今後も継続すると考えられ、厳しい経営環境への対応が求められています。

しかしながら、こうした状況の中でも経常収支を黒字化できたことは、収支改善に向けた取り組みの成果であり、今後の経営改善に向けた重要な基盤になるものと捉えています。

今後は、人件費等の固定的な増加要因については適正管理を行いながら、その他経費について内容や効果を十分に検証し、優先順位を明確にした効率的な支出運用を進めていきます。また、広告宣伝費についても費用対効果を精査し、より効果的な活用を図ることで、経費全体の最適化に取り組んでいきます。

加えて、資金残高は減少していることから、経常収支だけでなく資金収支の改善を重要課題とし

て認識しています。今後は、キャッシュフローにおける恒常的な黒字化を当面の目標とし、安定した財務基盤の確立と持続可能な運営体制の強化を目指していきます。

3 主な財務比率

事業活動収支計算書において、
教育活動収支収入の内訳は、学生生徒納付金収入は全体の 87.0%、補助金が 13.0%となります。
教育活動収支支出の内訳は、人件費が全体の 55.3%、教育研究費が 6.6%、管理経費が 38.1%となります。教育活動外収支の内訳は、収入では受取利息が 100%、支出では借入利息が 100%となります。

4 主な施設設備の整備状況

令和 7 年度においては、国の補助金を申請し大きな設備投資を行う予定でありましたが、決定された補助金の額が当初希望していたものとはかけ離れた低い金額でしたため、補助金を利用した設備購入は断念せざるを得ませんでした。しかしながら、学生数が増加したことによる、インターネット環境の整備は避けられず、これは自己資金での設備導入となりました。他は、引き続き環境の維持管理を主とし、屋上整備が依然として課題となっています。